

### 3 事務事業総点検運動等の取り組み状況

#### (1) 「事務事業総点検運動」と「公共施設総点検運動」の推進

市では、財政の健全性を確保する観点から、平成 22 年 7 月に「事務事業総点検運動推進本部」を設置し、コストの徹底的な検証・削減や、大胆な事業見直し等を進めてきました。

平成 26 年度予算編成においては、引き続き自治体経営の基盤強化を図る必要があることから、新たな行政評価の取り組みである「対話による創造的的事业改革手法」（下記参照）による事業見直しと連動して、「事務事業総点検運動」を継続、推進しました。また、細かな配慮と創意工夫によって、経費をかけずに事業の成果や市民満足度を高める取り組みである「ゼロ・アップ創造予算」についても積極的に推進しました。

平成 23 年度から本格的に開始した「公共施設総点検運動」では、文化施設や庁舎等の維持管理業務の仕様見直しを行い、経費の削減を図りました。

#### (2) 新たな行政評価手法「対話による創造的的事业改革手法」の試行

市では、3 年間の「事務事業総点検運動」の成果を踏まえ、従来の行政評価制度を発展・拡充する形で、全ての事務事業を検証の対象とする「対話による創造的的事业改革手法」を新たに試行しました。

この手法は、市民の皆さんのニーズを的確に把握し、市の施策全般の中での事業のバランスや事業量の妥当性等を、庁内の部門間での直接的な「対話」によってきめ細かく多角的に検証しながら、サービスの量と質の適正化を図る取り組みです。

今回の試行では、まず、市が実施している全事務事業から、所管部による各事業の自己点検（セルフチェック）をもとに、これまで見直しの機会が少なかった事業を中心に洗い出しを行いました。次に、これらの事業について、市長をはじめとする理事者による協議を行い、より検証の必要性が高い 29 事業（35 事項）を見直し・検証の対象事業としました。

この 29 事業（35 事項）について、所管部と企画部及び総務部の庁内の部門間での「対話」により必要性やあり方等を検証・検討し、見直しに取り組みました。その結果、平成 25 年度は、14 事業で事業内容や手法、経費等の見直し・改善を図りました。なお、平成 25 年度に一定の結論に至らなかった事業については、引き続き検証を進めていきます。

#### (3) 事務事業総点検運動等による主な事業見直し等一覧

平成 25 年度に実施した事務事業総点検運動等では、92 件の事業見直しにより約 2 億 4 千万円の削減を図りました。また、経費削減のみならず、「ゼロ・アップ創造予算」や「対話による創造的的事业改革手法」の取り組みをとおして、市民サービスの充実を図りました。

ここでは、主な事例 40 件を掲載します。

\* 公共施設総点検運動・ゼロ・アップ創造予算・対話による創造的的事业改革手法に該当するのは、その旨を記載しています。

No	所属	件名	平成26年度予算における見直し検討			
			平成26年度 予算(千円)	平成25年度 予算(千円)	増減額(千円)	増減率(%)
1	企画部	第4次基本計画 第1次改定等準備 関係費 (論点データ集作 成委託料)	「三鷹を考える論点データ集」の作成について、製本の紙質を見直すことで経費の削減を図る。			
			(*1) 3,655	4,150	△495	△11.9%
2	企画部	三鷹ネットワーク 大学運営費 【ゼロアップ創造 予算】	正会員・賛助会員による寄付講座の充実などによって、市からの事業費補助金を抑制しつつ、積極的な事業展開を図る。			
			0	0	0	0.0%
3	企画部	基幹系システム関 係費(機器等保守 委託料)(情報機 器等使用料)	複数システムでサーバを共有することにより、サーバ等の機器保守など維持管理に係る経費を削減する。 対象:介護保険システム、障がい者自立支援システム			
			877	2,679	△1,802	△67.3%
4	企画部	基幹系システム関 係費(システム修 正委託料)	地方自治情報センターに委託している、全国町字ファイルの作成について、納品方法をMO媒体からネットワーク経由に仕様を見直し、委託金額を減額する。			
			292	378	△86	△22.8%
5	企画部	情報系システム関 係費(回線使用 料)	各小学校及び中学校に敷設していた二つの通信回線を統合したことにより経費削減を図る。			
			14,240	19,026	△4,786	△25.2%
6	総務部	東京都市公平委 員会関係費(負担 金)	三鷹市公平委員会を廃止し、東京都市公平委員会の共同設置関係団体となることにより、公平委員会の専門性と安定的な審査体制を確保するとともに、行財政改革を推進する。			
			(*2) 1,515	1,862	△347	△18.6%
7	総務部	専門相談関係費 【ゼロアップ創造 予算】	毎月1回実施している「外国人相談」を見直し、三鷹国際交流協会において随時実施している「日常生活相談」と連携した対応を行うとともに、一般市民相談により対応することで、経費を削減しながら相談体制の充実を図る。			
			0	120	△120	皆減
8	総務部	地域防災意識啓 発事業費 【ゼロアップ創造 予算】	防災出前講座を開催するとともに、ミニ防災訓練を実施する。また、保存期限の近づいた備蓄食料品を活用することで新たな経費をかけずに市民の防災意識の向上を図る。			
			0	0	0	0.0%
9	総務部	災害見舞金支給 事業費 【対話による創造 的事業改革手法】	死亡見舞金の給付額を減額、傷害見舞金を廃止するとともに、単身世帯の被災見舞金を廃止し、近隣市との支給額の均衡を図る。			
			350	700	△350	△50.0%

\*1 平成25年度予算欄の額は、前回作成時(平成22年)の実績額。

\*2 平成25年度予算欄の額は、「公平委員会費」の額。

No	所属	件名	平成26年度予算における見直し検討			
			平成26年度 予算(千円)	平成25年度 予算(千円)	増減額(千円)	増減率(%)
10	市民部	市民保養所管理 運営費	市民保養所の廃止に伴い、保養所の運営に係る経費を削減する。			
			0	43,232	△43,232	皆減
11	市民部	滞納整理関係費 【ゼロ-アップ創造 予算】	納税指導員を2人から1人に、収納支援員を1人から2人の体制に見直す。 国民健康保険事業特別会計で東京税務協会に委託していた収納支援員は、同会計の東京都調整交付金交付限度額内で2人分まで全額補助されるため、納税課全体で支援員数を維持しつつ、経費の削減を図る。			
			(*3) 3,056	6,112	△3,056	△50.0%
12	市民部	趣旨普及費 【ゼロ-アップ創造 予算】	年々増加する保険給付費の抑制を図るため、40歳以上の被保険者に毎年送付している特定健診受診票に、新たに東京都国民健康保険団体連合会が作成する「ジェネリック医薬品希望シール」を同封し、ジェネリック医薬品のさらなる利用促進を図る。			
			(*4) 0	0	0	0.0%
13	市民部	高齢者特殊眼鏡 等助成事業費 【対話による創造 的事業改革手法】	平成5年に助成制度を創設して以後、特殊眼鏡の価格も低廉化しており、近年の助成実績もないことから、助成制度を廃止する。			
			0	65	△65	皆減
14	生活環境部	コミュニティ推進事 務関係費(IT講習 会用パソコン機器 使用料)	市がリース契約し、各住民協議会に貸与していたコミュニティ・センターでのIT講習会用パソコンについて、講習会への需要が少なくなってきたため、市のリース契約をやめ、各住民協議会で既定予算の範囲内で調達することで経費の削減を図る。			
			0	1,192	△1,192	皆減
15	生活環境部	芸術文化施設管 理関係費 【公共施設総点検 運動】	芸術文化センター、みたか井心亭、山本有三記念館のガラス清掃について、年6回から4回に見直しを行い、経費の削減を図る。			
			(*5) 21,120	22,236	△1,116	△5.0%
16	生活環境部	環境調査測定関 係費(自動車騒音 常時監視業務委 託料)	測定地点を集約するなど測定業務の効率化により経費の削減を図る。			
			886	1,100	△214	△19.5%

\*3 予算額は、東京都補助金を控除した一般財源額を記載。

\*4 予算額は、国庫補助金を控除した一般財源額を記載。

\*5 平成25年度予算は、消費税を8%とした場合の数値を記載。

No	所属	件名	平成 26 年度予算における見直し検討			
			平成 26 年度 予算(千円)	平成 25 年度 予算(千円)	増減額(千円)	増減率(%)
17	生活環境部	勤労者等生活資金融資事業費(利子補給金、信用保証料補助金) 【対話による創造的事業改革手法】	融資あっせん申請書の減少などから、平成 26 年度以降融資あっせん申請の新規受付を行わない。			
			322	886	△564	△63.7%
18	生活環境部	商店街助成事業費(市内共通商品券事業補助金)	一定の役割を終えたため、商品券のプレミアム分 10%の補助を廃止する。			
			0	10,000	△10,000	皆減
19	生活環境部	商店街助成事業費(新・元気をだせ商店街事業補助金 イベント事業)	市内共通商品券事業の廃止に伴い、ポスター印刷・折り込み代等の事務経費への補助金を廃止する。			
			0	1,666	△1,666	皆減
20	健康福祉部	三鷹市社会福祉事業団運営関係費(在宅福祉サービス事業運営費補助金)	電話相談事業の廃止及び家事介護等サービス事業の自己財源化(市補助金の充当対象外)を行うほか、職員を1人減とする体制の見直しを行う。			
			44,968	49,298	△4,330	△8.8%
21	健康福祉部	市民保養所利用者助成関係費 【対話による創造的事業改革手法】	三鷹市民保養所箱根みたか荘の廃止に伴い、利用者助成金を廃止する。			
			0	598	△598	皆減
22	健康福祉部	一般障がい手当等支給事業費(特定疾患手当(扶)) 【対話による創造的事業改革手法】	障害者総合支援法の障がい者の範囲に難病患者が加わり、他の障がいと同様に障害福祉サービスの利用が可能となったことなどから、特定疾患手当の支給額を月額 10,000 円→月額 6,000 円とし、支給対象者や支給制限などの見直しを行う。			
			153,576	174,380	△20,804	△11.9%
23	健康福祉部	高齢者保養宿泊費助成事業費(宿泊費補助金) 【対話による創造的事業改革手法】	三鷹市市民保養所箱根みたか荘の廃止に伴い、平成 26 年度及び 27 年度を経過措置として事業を廃止する。なお、経過措置期間の支給額は据え置き、箱根周辺での契約旅館数を増やすことに努める。			
			2,550	4,602	△2,052	△44.6%
24	健康福祉部	子どものころ・からだの発達講座関係費 【ゼロ・アップ創造予算】	1歳からの幼児期の講座については、内容を集約して経費の削減を図る一方で、乳児期の講座については、講義のみの形式から、講義+実習形式に変更し、より具体的に学べる内容とすることで、親の育児支援を行うとともに、子どもの健全育成を図る。			
			649	680	△31	△4.6%

No	所属	件名	平成 26 年度予算における見直し検討			
			平成 26 年度 予算(千円)	平成 25 年度 予算(千円)	増減額(千円)	増減率(%)
25	健康福祉部	がん検診関係費 (肺・乳・子宮・胃・ 大腸がん検診委託料)	胃がん個別検診について、新たに ABC 検診(血液検査)を導入することで、受診者の身体への負担を軽減するとともに、簡便な検査となることにより経費削減を図る。一方、胃がん集団検診(バリウムレントゲン検査)の定員を 1,950 人から 2,100 人に拡充するとともに、ABC 検診との併用を可能とし、胃がん検診の精度を高める。 また、各種がん検診について一部自己負担を導入する。			
			(*6) 113,830	125,140	△11,310	△9.0%
26	健康福祉部	地域健康づくり推進事業費 【ゼロ・アップ創造 予算】	各住民協議会で実施している、喫煙・肥満など、主に生活習慣病の予防につながるテーマの講座を市と協働で実施し、広く市民が参加できる講座とするとともに、各地域の要望や特性を活かした活動への重点化を図り、よりよい地域健康づくりを支援する。			
			1,869	2,142	△273	△12.7%
27	健康福祉部	特別養護老人ホームどんぐり山運営費 牟礼老人保健施設運営費 【公共施設総点検運動】	清掃等の仕様を見直し、作業量の適正化を図るとともに、今後の経営健全化の中でのさらなる見直しを検討する。			
			(*7) 102,657	103,922	△1,265	△1.2%
28	子ども政策部	ひとり親家庭自立支援講習会等事業費 【対話による創造的事業改革手法】	ひとり親家庭自立支援講習会等事業について、東京都や福祉団体等で同様の講習会があること、参加希望が少ないことなどから事業を廃止する。			
			0	217	△217	皆減
29	子ども政策部	東児童館移動児童館事業費 【ゼロ・アップ創造 予算】	移動児童館事業について、参加者が限定される市外への遠足の実施から、近隣地域で開催されるコミセン(コミュニティ・センター)まつりなどへの参加により、より多くの子どもたちに対して児童館事業の周知を図る。			
			70	124	△54	△43.5%
30	都市整備部	交通安全施設整備事業費(改修工事費)	道路反射鏡を改修時にポール式ではなく、共架式にすることで経費の削減を図る。			
			6,000	6,300	△300	△4.8%
31	都市整備部	幼児二人同乗用自転車レンタル関係費 【対話による創造的事業改革手法】	平成 29 年度をもって事業を廃止するが、募集及び現状の利用者へのレンタルは継続する。また、返却自転車で修繕費が2万円を超えるものは廃棄することにより、経費の削減を図る。			
			2,342	2,811	△469	△16.7%

\*6 平成 25 年度予算は、26 年度受診者数と同数で試算した額を記載。

\*7 平成 25 年度予算は、消費税を8%とした場合の数値を記載。

No	所属	件名	平成26年度予算における見直し検討			
			平成26年度 予算(千円)	平成25年度 予算(千円)	増減額(千円)	増減率(%)
32	都市整備部	保存樹木関係費 (保存樹木助成金) 【対話による創造的 事業改革手法】	景観上重要な樹木の保全をさらに充実していくために、せ ん定費用に係る経費の助成対象を、個人から法人等に拡充し て実施する。			
			(*8) 5,450	4,510	940	20.8%
33	教育部	教育支援学級関 係費(スクールバ ス運行業務委託 料)	第三中学校と高山小学校のスクールバスについて、利用実 績を勘案して共同運行にすることにより、バスの運行台数を減 らして経費の削減を図る。			
			31,771	37,694	△5,923	△15.7%
34	教育部	教育ネットワーク センター管理運営 費	学校 ICT 関連経費について、複数年度に渡って調達してい た機器を一括調達したことなどにより、機器使用料やシステム 保守委託料などのランニングコストの削減を図る。			
			(*9) 202,494	296,889	△94,395	△31.8%
35	教育部	教育ネットワーク センター管理運営 費(回線使用料)	小学校及び中学校に敷設していた教育ネットワーク用回線 について、教育委員会で個別に事業者と契約せずに、情報推 進課所管の庁内 LAN 回線と同じ契約に統合したことにより経 費の削減を図る。			
			(*10) 14,282	22,097	△7,815	△35.4%
36	教育部	川上郷自然の村 管理運営費 【ゼロ・アップ創造 予算】	厨房業務の見直しにより、管理運営経費を削減するととも に、広報活動の充実やサービスの向上による利用者拡大によ り利用料金収入の増加をめざすことで、指定管理料の節減を 図る。			
			63,270	66,253	△2,983	△4.5%
37	教育部	小学校費・学校管 理運営費、中学 校費・学校管理運 営費(管理用消耗 品費、運搬料)	児童、生徒用机・椅子を必要な分を全て購入するのではな く、余剰が発生している学校の分を不足している学校で再利 用することで、有効活用を図りながら経費を節減する。			
			(*11) 56	681	△625	△91.8%
38	教育部	修学旅行関係 費(生徒宿泊費 等補助金) 【対話による創 造的事業改革 手法】	保護者の経費負担を軽減するため実施している修学旅行 の宿泊費及び交通費の補助(市立中学校7校の中学3年生の 保護者を対象)について、一律 6,500 円から保護者負担額の1 割(上限 6,000 円)に減額する。また、市の補助制度の意義な どについて、保護者に対する周知を徹底する。			
			5,196	5,655	△459	△8.1%
39	教育部	図書資料バリアフ リー関係費 【ゼロ・アップ創造 予算】	音訳ボランティアの協力により実施している対面朗読サー ビスについて、利用実績を勘案し減額する一方で、視覚障がい 者向けに録音図書の貸出しを行っているサピエ図書館を活用 し、要望に応じた貸出しを迅速に行うことで、利用者の利便性 の向上を図る。			
			1,393	1,397	△4	△0.3%

\*8 拡充分 1,000 千円(100 千円×10 件)

\*9 平成 25 年度の数値は平成 22 年度の予算額を記載。

\*10 平成 25 年度の数値は統合しなかった場合の金額を記載。

\*11 平成 25 年度の数値は購入した場合の理論値を記載。

No	所属	件名	平成26年度予算における見直し検討			
			平成26年度 予算(千円)	平成25年度 予算(千円)	増減額(千円)	増減率(%)
40	教育部	スポーツ傷害見舞金支給事業費 【対話による創造的 事業改革手法】	「三鷹市スポーツ傷害見舞金支給条例」に基づき実施しているスポーツ傷害見舞金支給事業について、市民活動災害補償保険で同程度の内容が確保されていることから廃止する。			
			0	100	△100	皆減

(4) 事務事業総点検運動等に基づく事業見直し等による財源効果

No.	所属	平成24～26年度の財源効果 単位:千円					
		26年度		25年度		24年度	
		件数	効果額	件数	効果額	件数	効果額
1	企画部	8	△7,320	19	△7,495	15	△4,722
2	総務部	6	△3,407	10	△99,239	6	△13,192
3	市民部	8	△46,253	4	△428	3	△460
4	生活環境部	16	△16,481	20	△10,821	30	△43,217
5	健康福祉部	22	△48,097	33	△49,932	23	△152,181
6	子ども政策部	4	△1,032	3	△12,964	6	△16,629
7	都市整備部	9	△1,722	16	△13,862	5	△8,841
8	教育部	18	△116,255	18	△40,740	26	△27,361
9	行政委員会その他複数の部にまたがるもの	1	△226	2	△11,271	4	△7,314
合計		92	△240,793	125	△246,752	118	△273,917

※財源効果額は、歳出予算の削減と歳入予算の確保を加えた額で、マイナス(△)で表記しています。

4 2013年市長表彰(ベストプラクティス表彰)及び平成25年度職員提案表彰の結果

(1) 市長表彰(ベストプラクティス表彰)

①各課推薦事業(応募23課29事業)

	テーマ	受賞課
優秀賞 ☆☆☆	「三鷹市地域防災計画」の全面改定及び防災出前講座の推進	防災課
	「下連雀六丁目防災広場」の開園とオープニングイベントの実施	防災課、緑と公園課
	公会堂の整備及び公会堂別館建替え事業	コミュニティ文化課、公共施設課、三鷹市芸術文化振興財団
	第三小学校建替え事業による教育の質の向上	公共施設課、総務課
	南部図書館みんなみの開館	図書館

優良賞 ☆☆	国立天文台との協働による「三鷹の森 科学文化祭」の実施	企画経営課、NPO 法人三鷹ネットワーク大学推進機構
	組織統合による徴収体制の強化	納税課、保険課
	地域包括支援センターとの連携による「認知症にやさしいまち三鷹」の推進	高齢者支援課
努力賞 ☆	中田喜直記念歌碑建立事業	コミュニティ文化課
	相続人不存在の空き家に対する取り組み	安全安心課
	三鷹市立保育園危機管理マニュアルの作成	子ども育成課
パブリシティ部門賞 ☆	みたか・子どもと絵本プロジェクト連絡会による三鷹駅前まるごと絵本市の開催	コミュニティ文化課
	スポーツ祭東京 2013 の開催	国体推進室

②平成 25 年度予算創造型節減事例(対象9課7事業)

経営改善 努力賞 ☆	将来的な更新費用の増加を見据えた下水道使用料の改定	水再生課
	次期情報基盤システムの使用による経費の削減	情報推進課
	市民センター周辺施設の一括管理等による経費の削減	契約管理課、総務課、図書館
	空調機移設による経費の削減	公共施設課

③ISO14001 による環境改善事例(対象8課9事業)

環境 マネジメント 努力賞 ☆	「おいしくて たのしくて つながって」 ～みんなで取り組む 環境マネジメント～	南浦東保育園
	電気・水道使用量の削減	北野小学校
	児童による節電の取り組みの徹底、及びリサイクルの意識を高める環境づくり	第二小学校

(2) 職員提案表彰

①政策提案部門 (応募数 8点 優秀賞 1点 優良賞 1点 努力賞 1点)

	テーマ
優秀賞	“My Next-Door ”～地域の力を活かした妊娠時からの子育てサポート～
優良賞	『新』健康都市宣言 ― 絆がつくる元気創造プロジェクト ―
努力賞	外国人観光客の誘致でココロもフトコロも温かく～外国人も訪れてよしのまち三鷹～

②業務改善提案部門 (応募数 3点 優秀賞 1点)

	テーマ
優秀賞	「お悔やみ窓口(仮称)」の創設